

## スポーツ委員会のこれまでの審議内容とこれから

2019/6/18 渡辺

※斜体が前回からの追加と変更

### 1. 審議の方向

- 1) スポーツ界を社会の縮図と考える  
既存の社会的傾向や課題と関連させて検討  
例) 科学を社会に開く際の問題 (閉じた系と開いた系の科学)  
女性や LGBT、障がい者の問題
- 2) 社会から見てスポーツを変化させる  
スポーツ界あるいはスポーツそのものの価値を社会に見合ったものへと変化させるためのエビデンスの明示とその論理を検討  
例) 暴力の問題
- 3) スポーツから見て社会を変化させる  
スポーツの利点を活かし、社会に好影響を与える  
例) スポーツによって豊かになる人生

### 2. これまでの話題提供と予定

- 1) 来田委員 「健康・スポーツ科学分科会の活動・議論の概要」と「シンポジウム『博物館とのつながりがもたらすスポーツ文化の未来』に関する提言案」など
- 2) 山口副委員長 「スポーツを取り巻く環境―現状と課題―」
- 3) 田嶋委員 サッカー界を中心とした話題提供
- 4) スポーツ庁鈴木課長 スポーツ基本計画
- 5) 田原委員 ユネスコ「体育・身体活動・スポーツに関する国際憲章」(2015)
- 6) 酒折委員 スポーツイングランドの取組み
- 7) 鹿屋体育大学 前田明先生 スポーツデータ
- 8) 東北大学医学研究科 永富良一先生 (第二部小川宣子会員からの推薦)  
指導者の暴言や暴力の要因 (連鎖を断ち切る必要性)、歯・口腔領域のケガや障害  
の原因は練習量と指導者の体罰や暴言

-----  
9) 日本スポーツ協会 (福林先生ご紹介)

- 10) 厚生労働省健康日本21プロジェクト、藤沢市コホート研究 (第二部小松浩子会員から推薦) 地域でスポーツを取り入れて、個々人と地域の活性化の事例
- 11) 東京大学先端科学技術研究センター 熊谷晋一郎先生 (喜連川先生からの推薦)  
医学と工学を基本とした当事者研究が専門、車椅子の実践者
- 12) eスポーツとゲーム依存の関係?

### 3. これまでの審議で特筆すべき点

#### 1) スポーツ界を社会の縮図と考える

- ① 金メダルを獲るという目標とスポーツによる健全発達
- ② アスリート個人のキャリア構築能力の育成  
(アスリートの主体性と指導との関係、発達段階における適切性(受験との関係))
- ③ スポーツによって人生が豊かになる論理
- ④ 肉体面と精神面の両立
- ⑤ ルールの効用と限界
- ⑥ 多様性への配慮と価値の多様化
- ⑦ 変革の対象は若手と指導者
- ⑧ 科学的エビデンスの定義(定量性が必要か)
- ⑨ スポーツ/科学/平和の関係

#### 2) 社会から見てスポーツを変化させる

- ① 暴力の問題

#### 3) スポーツから見て社会を変化させる

- ① スポーツによって豊かになる人生

#### 4) その他

- ① eスポーツにおけるゲーム依存症の問題との関係

### 4. スケジュール

2019年1月—3月	現状把握と課題の抽出
2019年4月—9月	抽出された課題のデータ収集と分析
2019年10月3日	公開シンポジウムで議論
2019年10月—2020年3月	回答内容の審議
2020年4月—6月	回答作成

#### 参考) 審議依頼内容

- ・日常生活におけるスポーツと社会との関係に関する科学的知見の整理
- ・スポーツ界と科学との関係の在り方の検討
- ・科学技術の進展、情報技術環境の変化に伴うスポーツの価値の変化に関する科学的知見の整理
- ・EBPM (Evidence-Based Policy Making) を推進していくための体制整備(スポーツ庁と関係学会との連携の在り方を含む)に関する提案